

## 地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和6年1月31日

補助事業者名:神戸市交通局

評価対象事業名:地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
<p>本事業は、世界パラ陸上競技選手権大会や大阪・関西万博の開催、神戸空港の国際化に伴い、急増する外国人観光客の対応のほか、国内観光客やこれまで現金で乗車券を購入されていた沿線の利用者において、交通系ICカードや乗車券の購入を不要とし、キャッシュレスでより快適なご利用環境を提供するとともに混雑緩和を図るために、クレジットカードタッチ決済システムを導入する。</p> <p>事業に必要なシステムの構築は、計画通りに進んでおり、2023年7月5日には、本事業のサービスの導入、及び提供予定時期をプレスリリースを行っている。</p>	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	事業に位置付けられた計画のとおり適切に実施された。 システム構築及び関係者間の調整を概ね計画のとおりすすめることができている。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	混雑緩和状況の指標として、券売機等で発売している乗車券数を減らしていくことを目標設定しているが、より多くのお客様にクレジットタッチ決済乗車をご利用いただくために、神戸市、民間事業者(鉄道・バス・観光船等)と連携していくことで、これを達成できる見込みである。
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
現時点で目立った要改善点は特になく、クレジットタッチ決済システムの導入を予定通り完了する見込みである。今後、神戸市、民間事業者と共に、プロモーションの実施に向けて連携を図っていく。	

## ※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された  
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。  
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

## ※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)  
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)  
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)